



精神科医 瀬戸 睿

7月に参院選が行われ、やはり保守の辛勝だった。しかし、今迄には見られない画期的なことが起こった。それは、「れいわ新選組」から2名の重度の障がい者が当選したことです。国民も捨てたものではなかった。メディアで、選挙前殆ど報道されなかった山本太郎率いるこの「れいわ新選組」が比例区特定枠で筋委縮性側索硬化症の松後氏と脳性麻痺の木村氏の当選、党全体で228万票を獲得し比例の投票率

の2%をクリアし政党として扱われることになったことです。あつと驚きました。なんと素晴らしきことをしたんだという感嘆の思いです。差別撤廃、差別撤廃と自分は単に大声で叫んでいただけではないか！という自責の念と政治の場に障がい者を登場させ、自らの問題を堂々と社会に訴え働きかけていく、その発想の素晴らしさに打たれました。

私は『くおくれの風』（越谷市の精神医療福祉を考える会）に所属し、行政に対し障がい者への生活を保障する手当を支給するような活動等をしており、一定の成果を上

げてきましたが、この新選組の活動を見て、障がい者も代議士や県議会議員、市議会議員となって自分たちの問題も含め、福祉や健康などの地域の諸問題を政治家として解決していくという発想はありませんでした。障がい者を政治に!!これが、障がい者が使いものにならないといっている植松聖（相模原市の津久井やまゆり園で19人も殺した人）などを打ち破る新しい視点になると考える。障がい者の視点で政治を変える、社会を変える大きな力になると思います。『くおくれの風』もその視点で東部地域の障がい者を團結させ、自分たちの代表を市や県や国に送り込もう。そういう運動をこれから作り出そうと思いました。



医療法人社団 俊書会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎ 048-965-1151